

令和 7 年度

土 岐 市 公 営 企 業 会 計
決 算 審 査 意 見 書

(土岐市病院事業会計)

土 岐 市 監 査 委 員

目 次

1 審 査 の 対 象	．．．．．	1
2 審 査 の 期 間	．．．．．	1
3 審 査 の 方 法	．．．．．	1
4 審 査 の 結 果	．．．．．	1

病 院 事 業 会 計

1 決 算 報 告 書	．．．．．	2
2 損 益 計 算 書	．．．．．	3
3 貸 借 対 照 表	．．．．．	5
4 審 査 の 総 括	．．．．．	7
別表 1 予算決算対照表	．．．．．	8
別表 2 比較損益計算書	．．．．．	9
別表 3 比較貸借対照表	．．．．．	10
別表 4 経営指標等の推移	．．．．．	11

注 記

- 1 本書において、文中に用いる金額は、原則として円単位で表示した。
- 2 比率（％）は、原則として小数点第2位を四捨五入し小数点第1位まで表示した。
- 3 構成比（《％》）は、合計が100となるよう一部調整している。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - （0.0）は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
 - （－）は、該当数値がないものである。
 - （△）は、減少又は不足を表示する。

令和 7 年度土岐市公営企業会計決算審査

1 審査の対象

令和 7 年度土岐市病院事業会計決算

2 審査の期間

令和 8 年 4 月 3 日から令和 8 年 5 月 1 5 日まで

3 審査の方法

審査にあたっては、決算書、財務諸表及び附属書類並びに各企業で保管する関係諸帳簿等により総括的に審査するとともに、前年度決算との比較、例月現金出納検査の結果を参考に財務事務の適法性、決算計数の正確性、予算執行の適正かつ効率性等を主眼とし、関係職員の説明を聴取し、質問等を行い審査した。

4 審査の結果

審査に付された決算書、財務諸表等は、いずれも地方公営企業関係法令に準拠して作成され、経営成績及び財務状況が適正に表示されており、その決算計数は正確であることを認めた。

審査の概要及び意見については、次のとおりである。

病 院 事 業 会 計

1 決算報告書(消費税込み)

当年度における予算及び決算の概要は、別表1に示すとおりである。

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収入の決算額は、1,301,107,883円で、予算現額1,172,561,000円に対し、111.0%の収入率で、128,546,883円の増となった。

この決算額の内訳は、医業収益3,126,430円《構成比0.2%》、医業外収益1,072,742,131円《82.5%》、老人保健施設運営事業収益225,193,270円《17.3%》、駄知診療所運営事業収益46,052円《0.0%》である。

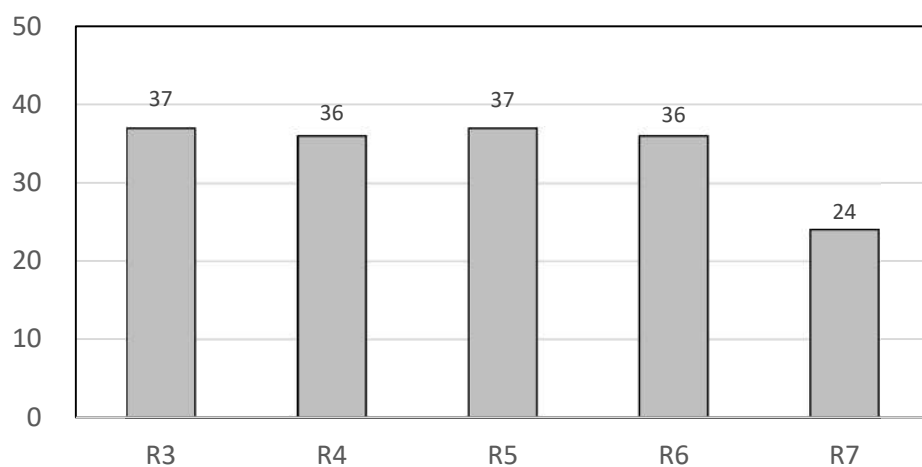
収益的支出の決算額は、1,483,111,206円で、予算現額1,578,112,000円に対し、94.0%の執行率で、95,000,794円が不用額となり、主な不用額は、医業費用83,495,006円である。

この決算額の内訳は、医業費用1,257,349,187円《84.8%》、医業外費用19,895,807円《1.3%》、老人保健施設運営事業費用205,740,638円《13.9%》、訪問看護ステーション運営事業費用33,053円《0.0%》、駄知診療所運営事業費用92,521円《0.0%》である。

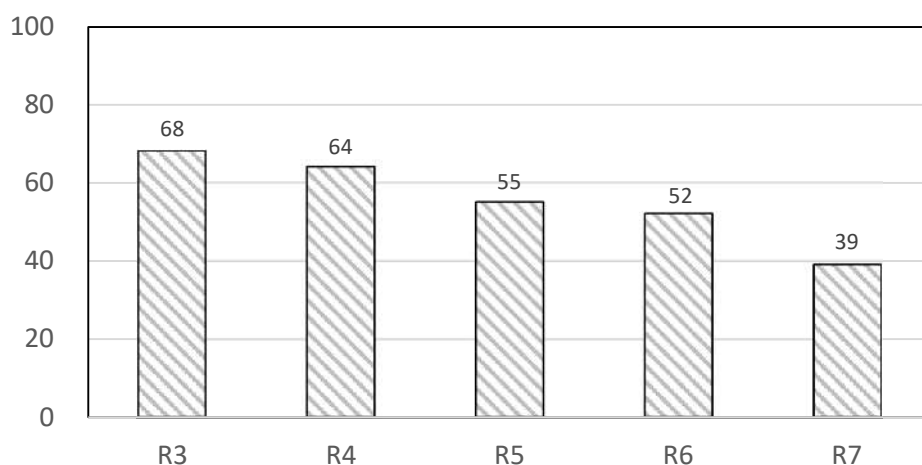
なお、業務実績については、次表のとおりであり、当年度の入院患者は32.7%減少、外来患者は23.6%減少した。また、老健入所利用者は97.2%、老健短期入所利用者数は89.8%、訪問看護ステーション利用者数は28.8%減少した。

区 分		令和7年度	令和6年度	前 年 度 比 較	
				増 減	比率 %
1. 病床数	(床)	350	350	0	0.0
2. 患者数					
(1) 入院患者数	(人)	24,411	36,292	△11,881	△32.7
(2) 外来患者数	(人)	39,424	51,590	△12,166	△23.6
3. 病床利用率	(%)	22.8	28.4	△5.6	—
4. 老健定員	(人)	125	125	0	0.0
5. 老健入所利用者数	(人)	161	5,685	△5,524	△97.2
6. 老健短期入所利用者数	(人)	91	894	△803	△89.8
7. 老健入所利用率	(%)	0.8	18.0	△17.2	—
8. 訪看利用者数	(人)	3,709	5,208	△1,499	△28.8

(千人) 入院患者数の推移



(千人) 外来患者数の推移



(2) 資本的収入及び支出について

資本的収入の決算額は、144,959,814円で、予算現額144,960,000円に対し、100.0%の収入率で、186円の減である。

この決算額の内訳は、補助金55,427,119円《38.2%》、負担金89,532,695円《61.8%》である。

資本的支出の決算額は、108,994,737円で、予算現額113,995,000円に対し、95.6%の執行率で、5,000,263円が不用額である。

この決算額の内訳は、企業債償還金108,994,737円《100.0%》である。

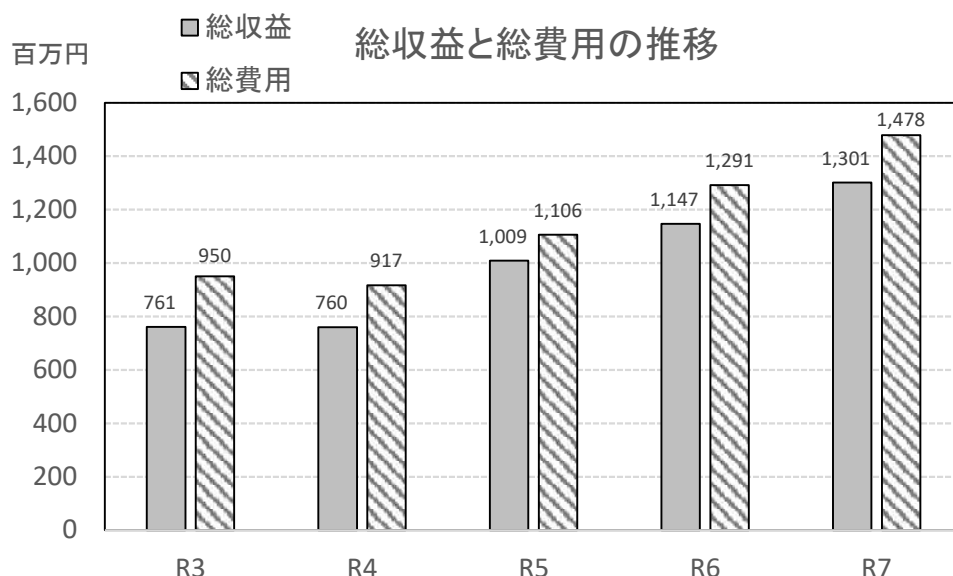
2 損益計算書(消費税抜き)

当年度における損益計算書の概要は、別表2に示すとおりである。

当年度の経営成績は、総収益1,300,761,123円に対し、総費用1,477,851,719円で、差引き177,090,596円の損失となった。

これを前年度と比較すると、総収益は153,496,789円(13.4%)の増、総費用は187,269,377円(14.5%)の増である。

この結果、当年度未処理欠損金は、7,452,034,230円（対前年度2.4%増）を計上することとなった。



(1) 収益について

医業収益は、2,853,580円で、総収益の0.2%を占め、前年度と比較して452,835円(13.7%)の減となっている。

医業外収益は、1,072,668,221円で、総収益の82.5%を占め、前年度と比較して157,490,208円(17.2%)の増となっている。この主な要因は、前年度と比較して長期前受金戻入が97,444,591円(68.6%)増加したためである。

老人保健施設運営事業収益は、225,193,270円で、総収益の17.3%を占め、前年度と比較して3,507,134円(1.5%)の減となった。

駄知診療所運営事業収益は、46,052円で、前年度と比較して33,450円(42.1%)の減となった。

(2) 費用について

医業費用は、1,256,461,811円で、総費用の85.0%を占め、前年度に比べ208,972,072円(19.9%)の増である。これは、資産減耗費251,348,628の皆増などによるものである。

医業外費用は、15,524,496円で、総費用の1.1%を占め、前年度と比較して6,602,704円(29.8%)の減である。これは、企業債利息4,486,561円(59.2%)の減などによるものである。

老人保健施設運営事業費用は、205,739,838円で、総費用の13.9%を占め、前年度と比

較して14,745,205円(6.7%)の減である。

訪問看護ステーション運営事業費用は、33,053円で、前年度と比較して81,630円(71.2%)の減である。

駄知診療所運営事業費用は、92,521円で、前年度と比較して273,156円(74.7%)の減である。

3 貸借対照表

当年度における貸借対照表の概要は、別表3に示すとおりである。

(1) 資産について

当年度の資産総額は、3,924,295,362円で、この内訳は、固定資産3,511,771,840円(89.5%)、流動資産412,523,522円(10.5%)である。

前年度と比較すると442,504,377円(10.1%)の減で、固定資産が459,935,282円(11.6%)の減となったことなどによるものである。

固定資産の減は、器械及び備品が259,369,274円(66.1%)、建物が198,159,509円(6.8%)の減となったことなどによるものである。

流動資産は、17,430,905(4.4%)の増となっており、これは現金及び預金が17,477,585円(4.4%)の増となったことなどによるものである。

なお、当年度の未収金は1,103,979円で、すべて医業未収金(患者自己負担分)である。

資 産 構 成 比 率 の 推 移

(単位：%)

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産構成比率	89.4	91.0	89.5
流動資産構成比率	10.6	9.0	10.5

固定資産構成比率は、総資産に対する固定資産の割合を示すもので、この比率が高くなると資本が固定化の傾向にあるといわれる。

流動資産構成比率は、資産総額を100とした場合の流動資産の割合を示すもので、比率の高い方が流動性があるといわれる。

(2) 負債について

当年度の負債総額は、1,312,276,275円で、前年度と比較して、265,413,781円の減である。

なお、当年度の未払金は、6,789,585円で、その内訳は、医業未払金157,485円、医業外未払金6,632,100円である。

(3) 資本について

資本金は9,634,294,042円で、前年度に比較して増減はない。

剰余金は△7,022,274,955円で、前年度に比較して177,090,596円(2.6%)の減である。

この結果、資本合計は2,612,019,087円となり、前年度と比較し177,090,596円(6.3%)の減である。

財 務 比 率 の 推 移

(単位：%)

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固 定 比 率	120.6	111.1	108.0
流 動 比 率	101.4	167.6	61.4
酸性試験比率	101.4	167.6	61.4

※固定比率：固定資産÷（資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益）×100

※流動比率：流動資産÷流動負債×100

※酸性試験比率：（現金預金＋未収金－貸倒引当金）÷流動負債×100

固定比率は、自己資本（自己資本金＋剰余金）に対して、固定資産の割合を示すもので、固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましいとされている。

流動比率は、流動負債に対する換金性の強い流動資産の割合を示すもので、一年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上であることが望ましいので、理想比率は200%以上である。

酸性試験比率は、流動資産のうち現金、預金及び未収金などの当座資産の流動負債に対する割合を示すもので、100%以上が望ましい。

令和7年度の流動比率、酸性試験比率が大幅に悪化した要因は、総合病院等の閉鎖に伴い、企業債の未償還残高を1年以内に全額繰上げ償還することが決まっていたため、例年固定負債に計上していた分も含めてすべて流動負債に計上したためである。

4 審査の総括

以上が、令和 7 年度土岐市病院事業会計決算書及び附属書類を審査した結果の概要である。

病院事業収益については、前年度の 11 億 4,726 万円に対して、本年度は 13 億 76 万円と増加し、病院事業費用については、前年度の 12 億 9,058 万円に対し、本年度は 14 億 7,785 万円に増加した。本年度は、公立東濃中部医療センターに医療機器等を移設したことにより、資産減耗費及び長期前受金戻入が増加している。また、患者数や利用者数の減少で指定管理者において収益が減少した一方で費用は減少しなかったことで、それを補填するための経営基盤強化交付金の支出が病院事業会計において増加し、その分は一般会計から負担金として収入したため、収益、費用共に増加したものである。経常損失についても、前年度が 1 億 4,332 万円であったものが、本年度は 1 億 7,709 万円と増加した。

本市の病院事業は、令和 2 年度に指定管理者制度に移行したため、それ以降の入院・外来収益等医業に係る収益や費用は、指定管理者の会計に計上されている。一方、土岐市病院事業会計には、指定管理者に対する指定管理料、建物や医療機器を購入した際に借り入れた企業債の償還などが計上されている。それらの支出は一般会計繰入金や指定管理者負担金を財源としており、支出と収入はイコールで結びついている。そのうえで、企業会計の特徴である現金を伴わない支出や収益等を計上し、その結果、経常損失が計上されている。

総合病院の令和 7 年度の入院・外来患者数を前年度と比較すると、入院患者数は 11,881 人 32.7%、外来患者数は 11,806 人 23.2%減少した。病床利用率は 22.8%で 5.6 ポイント減少した。また、老人保健施設の入所利用率は 0.8%で 17.2 ポイント減少し、訪問看護ステーションの利用者数は 1,499 人 28.8%減少した。このように、患者数や利用率が軒並み減少しているのは、本年度の期間が 10 か月であったこと、また、総合病院等の閉鎖に向けて利用制限を講じたことによるものである。

本市の病院事業は、高度医療、特殊医療、救急医療など地域の基幹病院としての役割を担う「総合病院」、老人医療と福祉サービスを提供する老人保健施設「やすらぎ」、訪問看護ステーション「ときめき」、地域に密着した医療サービスを提供する「駄知診療所」で構成されており、その相互補完により、地域住民の健康管理と適切な医療や公共の福祉の安定的提供に努めてきたものである。

総合病院等の閉鎖と同時に、土岐市病院事業会計は令和 8 年 1 月末をもって廃止された。旧総合病院には、建物や設備が残っており、その管理や処分が必要である。必要経費は一般会計に計上されているため、今後は建物や設備の有効活用も含め、適切な管理、処分をお願いしたい。

病院事業は、土岐市立総合病院と瑞浪市の東濃厚生病院が統合し令和 8 年 2 月 1 日に開院した公立東濃中部医療センターに、指定管理者の運営、経営の元で引き継がれている。公立東濃中部医療センターでは、広く新しい施設に最新の機器設備が整備され、診療科も増えた。新設の産婦人科においては、新生児誕生という明るい話題も聞こえてきている。公立東濃中部医療センターには、今後とも長きにわたり地域医療の中核を担うことを期待したい。

別表 1

令和7年度 病院事業予算決算対照表

収益的収入				収益的支出				(単位：円・％)					
区 分	予 算 現 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	予算現額に 比べ決算額 の増減	予算現額に 対する決算 額の比率	区 分	予 算 現 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	不 用 額	予算現額に 対する決算 額の比率
病院事業収益	1,172,561,000	100.0	(346,938) 1,301,107,883	100.0	128,546,883	111.0	病院事業費用	1,578,112,000	100.0	(1,346,230) 1,483,111,206	100.0	95,000,794	94.0
医 業 収 益	3,500,000	0.3	(272,850) 3,126,430	0.2	△ 373,570	89.3	医 業 費 用	1,340,844,193	85.0	(887,376) 1,257,349,187	84.8	83,495,006	93.8
医業外収益	951,964,000	81.2	(74,088) 1,072,742,131	82.5	120,778,131	112.7	医業外費用	19,895,807	1.3	(458,054) 19,895,807	1.3	0	100.0
老人保健施設 運営事業収益	217,041,000	18.5	(0) 225,193,270	17.3	8,152,270	103.8	老人保健施設 運営事業費用	206,733,000	13.1	(800) 205,740,638	13.9	992,362	99.5
駄知診療所 運営事業収益	56,000	0.0	(0) 46,052	0.0	△ 9,948	82.2	訪問看護ステーション 運営事業費用	34,000	0.0	(0) 33,053	0.0	947	97.2
特別利益	0		(0) 0		0	—	駄知診療所 運営事業費用	605,000	0.0	(0) 92,521	0.0	512,479	15.3
								特別損失	0	(0) 0		0	
							予 備 費	10,000,000	0.6	(0) 0		10,000,000	0.0

※（ ）は、仮受消費税

※（ ）は、仮払消費税

資本的収入				資本的支出				(単位：円・％)					
区 分	予 算 現 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	予 算 現 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 現 額 に 対 する 決 算 額 の 比 率	区 分	予 算 現 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	不 用 額	予 算 現 額 に 対 する 決 算 額 の 比 率
資本的収入	144,960,000	100.0	(0) 144,959,814	100.0	△ 186	100.0	資本的支出	113,995,000	100.0	(0) 108,994,737	100.0	5,000,263	95.6
出 資 金	0		(0) 0		0		建設改良費	0		(0) 0		0	
補 助 金	55,427,000	38.2	(0) 55,427,119	38.2	119	100.0	企業債償還金	108,995,000	95.6	(0) 108,994,737	100.0	263	100.0
企 業 債	0		(0) 0		0		予 備 費	5,000,000	4.4	(0) 0		5,000,000	0.0
負 担 金	89,533,000	61.8	(0) 89,532,695	61.8	△ 305	100.0							

※（ ）は、仮受消費税

※（ ）は、仮払消費税

別表 2

令和7年度
令和6年度

病院事業比較損益計算書

(単位：円・%)

費用の部				収益の部			
区 分 科 目	令和7年度		令和6年度	比較増減	比率	前年度 対比率	前年度 対比率
	金額	構成比					
医業費用	1,256,461,811	85.0	1,047,489,739	208,972,072	81.2	119.9	
経費	10,204,286	0.7	7,435,096	2,769,190	0.6	137.2	
減価償却費	173,614,897	11.7	278,348,937	104,734,040	21.6	62.4	
資産減耗費 その他 医業費用	251,348,628	17.0	0	251,348,628		皆増	
医業外費用	821,294,000	55.6	761,705,706	59,588,294	59.0	107.8	
一般管理費	15,524,496	1.1	22,127,200	6,602,704	1.7	70.2	
支払利息・企業 債取扱諸費	4,580,546	0.3	0	4,580,546		皆増	
長期前払 消費税償却	3,088,177	0.2	7,574,738	4,486,561	0.6	40.8	
雑支出	2,121,203	0.1	5,531,272	3,410,069	0.4	38.3	
老人保健施設 運営事業費用	5,734,570	0.4	9,021,190	3,286,620	0.7	63.6	
訪問看護ステーション 運営事業費用	205,739,838	13.9	220,485,043	14,745,205	17.1	93.3	
駄知診療所 運営事業費用	33,053	0.0	114,683	81,630	0.0	28.8	
特別損失	92,521	0.0	365,677	273,156	0.0	25.3	
その他 特別損失	0		0				
小計	1,477,851,719	100.0	1,290,582,342	187,269,377	100.0	114.5	
当年度純利益							
合計	1,477,851,719		1,290,582,342	187,269,377		114.5	
区 分 科 目	令和7年度		令和6年度		比較増減	比率	前年度 対比率
区 分 科 目	金額	構成比	金額	構成比			
医業収益	2,853,580	0.2	3,306,415	0.3	△		86.3
その他 医業収益	2,853,580	0.2	3,306,415	0.3	△		86.3
医業外収益	1,072,668,221	82.5	915,178,013	79.8	157,490,208		117.2
受取利息 及び配当金	0		0				
補助金	0		0				
負担金及び 交付金	822,856,175	63.3	765,574,215	66.7	57,281,960		107.5
長期前受金戻入	239,558,483	18.4	142,113,892	12.4	97,444,591		168.6
貸倒引当金戻入	0		0				
その他 医業外収益	10,253,563	0.8	7,489,906	0.7	2,763,657		136.9
老人保健施設 運営事業収益	225,193,270	17.3	228,700,404	19.9	△		98.5
訪問看護ステーション 運営事業収益	0		0				
駄知診療所 運営事業収益	46,052	0.0	79,502	0.0	△		57.9
特別利益	0		0				
固定資産 売却益	0		0				
その他 特別利益	0		0				
小計	1,300,761,123	100.0	1,147,264,334	100.0	153,496,789		113.4
当年度純損失	177,090,596		143,318,008		33,772,588		123.6
合計	1,477,851,719		1,290,582,342		187,269,377		114.5

別表 3

令和7年度
病院事業比較貸借対照表
令和6年度

(単位：円・%)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部				
区 分 科 目	令和7年度		令和6年度		比 較 増 減	前年度 対比率		
	金 額	構成比	金 額	構成比				
資 産 の 部	固定資産	3,511,771,840	89.5	3,971,707,122	91.0	△ 459,935,282	88.4	
	土 地	620,544,763	15.8	620,544,763	14.2		0	100.0
	建 物	2,727,546,714	69.6	2,925,706,223	67.1	△ 198,159,509	93.2	
	構 築 物	13,423,971	0.3	13,676,189	0.3	△ 252,218	98.2	
	機 械 及	133,239,485	3.4	392,608,759	9.0	△ 259,369,274	33.9	
	び 備 品							
	車 両	698,805	0.0	731,858	0.0	△ 33,053	95.5	
	リ ー ス 資 産	7,254,935	0.2	7,254,935	0.2	0	100.0	
	そ の 他 有 形							
	固 定 資 産	618,850	0.0	618,850	0.0	0	100.0	
	建 設 仮 勘 定	0		0				
	長 期 貸 付 金	0		0				
	長 期 前 払							
	消 費 税	8,444,317	0.2	10,565,545	0.2	△ 2,121,228	79.9	
	流 動 資 産	412,523,522	10.5	395,092,617	9.0	17,430,905	104.4	
資 本 の 部	現 金 及	411,588,413	10.5	394,110,828	9.0	17,477,585	104.4	
	び 預 金							
	未 収 金	1,103,979	0.0	1,677,621	0.0	△ 573,642	65.8	
	貸 倒 引 当 金	△ 168,870	0.0	△ 695,832	0.0	526,962	24.3	
	貯 蔵 品	0		0				
	前 払 金	0		0				
	そ の 他							
	流 動 資 産	0		0				
	小 計							
	合 計	3,924,295,362	100.0	4,366,799,739	100.0	△ 442,504,377	89.9	

別表 4

病院事業の最近5事業年度に係る主要な経営指標等の推移

(単位:千円)

区分		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経営成績	医業収益	益	4,264	3,881	3,438	3,306	2,854
	医業利益	益	△ 710,153	△ 668,236	△ 841,153	△ 1,044,183	△ 1,253,608
	経常利益	益	△ 188,876	△ 156,712	△ 97,667	△ 143,318	△ 177,091
	当年度純利益	益	△ 188,876	△ 156,594	△ 97,667	△ 143,318	△ 177,091
	収益的収入に計上したた 一般会計繰入金を除いた 当年度純利益	益	△ 699,402	△ 679,099	△ 807,722	△ 1,086,561	△ 1,171,554
財政状況	資産合計		5,152,132	4,780,260	4,748,067	4,366,800	3,924,295
	自己資本金		9,229,294	9,364,294	9,499,294	9,634,294	9,634,294
	剰余金と自己資本		2,781,689	2,760,095	2,797,428	2,789,110	2,612,019
	自己資本構成比率		54.0%	57.7%	58.9%	63.9%	66.6%
	不納欠損額		2,284	1,856	3,984	2,963	527
	企業債現在高		1,646,928	1,236,145	1,113,947	773,773	664,778
その他	企業債利息		25,609	21,130	16,907	13,751	5,626
	累積欠損金		6,877,365	7,033,958	7,131,626	7,274,944	7,452,034
	建設改良費(税込み)		0	12,100	254,067	52,281	0
	収益的収入と資本的収入の 一般会計繰入金		801,695	802,957	950,863	1,204,624	1,049,891
	職員数		0名	0名	0名	0名	0名